

取扱い方法 (正しくご使用下さい。)

I. 適正な揚量のスーパーレバーを選定して下さい。

- ◎ハンドル操作が一人で困難な時や、フックの口が開いた時は、オーバーロードですから揚量の大きいスーパーレバーに変えて下さい。
- ◎ハンドル部にパイプ等を入れ故意に長くしたり、足で踏みつけての操作はしないで下さい。
- ◎荷締め等で牽引した後、さらに揚量以上の荷重が掛る事が予測される時は、その予測される荷重のスーパーレバーを選定して下さい。

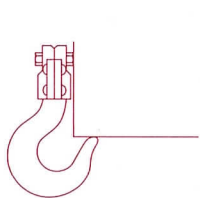
II. フックについて次の使用はしないで下さい。 **使用厳禁**

- ◎フックの先端に負荷した使用 (参考図1)
- ◎フックを固定する等で、横方向の力や曲げの力が加わる使用 (参考図2)
- ◎本体フックを固定する等で、本体やフック等に横方向の力や曲げの力が加わる使用 (参考図3)
- ◎荷にチェーンを巻き付けフックで固定する使用 (参考図4)
- ◎次の状態が観察された場合は使用しないで下さい。

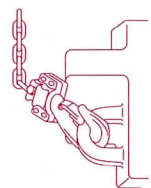
1. き裂があるもの
2. 目視可能な変形のあるもの
3. 口の開きの変化が観察されたもの
4. 外れ止め効果のないもの

危険

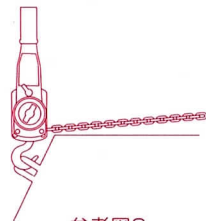
揚量の3倍以上の力がかけると、フックの口が開きはじり永久変化します。オーバーロードですから使用しないで下さい。



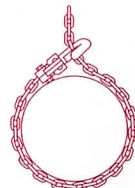
参考図1



参考図2



参考図3

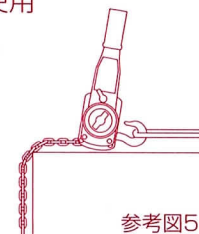


参考図4

1

III. チェーンについて次の使用はしないで下さい。 **使用厳禁**

- ◎チェーンがねじれたり、もつれたりしたままの使用
- ◎荷物等の角にチェーンが当たらないようにする事 (参考図5)
- ◎チェーンの磨耗及び変形、き裂が生じているものは使用しない事
- ◎チェーンエンドリンクが無い状態での使用



参考図5

IV. 荷重の掛かっている時に、遊転ニギリやアローレバーを廻さないで下さい。

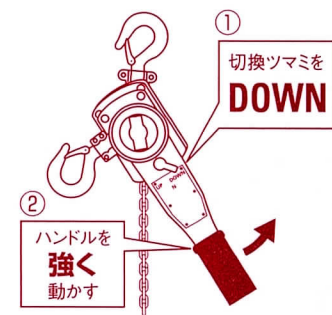
V. 放り投げ等でチェーンや本体にキズをつけないよう注意して下さい。

VI. 雨露を避けて保管して下さい。

VII. 人を吊り上げたり、頭上での操作はしないで下さい。

VIII. 遊転(フリーチェーン)時、チェーンフックが勢いよく本体にあたって図のようにくいついた時は、切換ツマミをDOWNの位置にして、ハンドルを強く動かし巻き下げ操作をしてチェーンフックを正常位置にして下さい。

強く、くいついている時は、切換ツマミをDOWNの位置にして、本体をバイス等で固定し、ハンドルを強く引くかハンマー等でたたいて下さい。



2